

福井県

# 坂井市坂井町の石仏

資料作成：滝本やすし(石川県金沢市)



坂井町上兵庫松原神社の石造物

## 坂井町

- 01 徳分田 日吉神社／秋葉神社石祠[観音]、菅原神社石祠[菅原道真]
- 02 上兵庫 八幡宮／本殿石祠[武将形八幡神]、秋葉宮石祠[秋葉権現]
- 03 上兵庫 松原神社／阿弥陀如来、十一面観音、弁財天
- 04 清永 白山神社／八幡神社石祠[武将形八幡神]、神明神社石祠[雨宝童子]、九重塔
- 05 東荒井 春日神社／旧本殿石祠[薬師如来]、八ツ手の神神社石祠[弁財天]
- 06 上関 八幡神社／神明神社石祠[六字明王]
- 07 下関 春日神社／春日神社石祠[観音]、神明神社石祠[雨宝童子]、不動明王
- 08 高柳 氷川神社／氷川大明神
- 09 長畑 路傍／おはや・良作地藏、光導名号塔

## 01 徳分田 日吉神社／秋葉神社石祠[観音]、菅原神社石祠[菅原道真]

日吉神社の祭神は大山咋命、旧社格は村社。境内社は菅原神社と秋葉神社。本殿の右手に2基の石祠が並んでいる。向って右が秋葉神社で、左が菅原神社である。石祠の木製の扉は、先日新調された。

秋葉神社の石祠の中には、角板状の凝灰岩に彫られた天扇を持つ天女形の立像が納められている。脚下に蓮華が彫られているので、秋葉権現の本地仏の観音であろうか。



観音？



菅原道真

菅原神社の石祠の中には、菅原道真の丸彫り座像が納められている。衣冠束帯の像で、右手に笏を持ち、左手は腰に差した刀にあてている。

## 02 上兵庫 八幡宮／本殿石祠[武将形八幡神]、秋葉宮石祠[秋葉権現]

八幡宮の本殿は、前面に八の字の窓が開けられた石祠である。奥壁内面には左手に弓を、右手に矢を持つ武将形八幡神立像が浮彫りされている。

八幡宮本殿の右手には、秋葉宮の石祠が建てられている。内部には、右手に剣を、左手に索を持つ秋葉権現立像が納められている。

本殿の左手には、地藏が納められた小堂や如意輪観音が納められた小堂が建てられている。

## 03 上兵庫 松原神社／阿弥陀如来、十一面観音、弁財天

松原神社の祭神は、天津兒屋根命、倉稻魂命、表筒男命、天照皇大神、伊弉册尊2柱、櫛樟日命、市杵島姫命。旧社格は村社。

本殿右手のコンクリートブロック製の堂内に、10体ほどの石仏や石神などが納められている。前列右から、阿弥陀如来座像、男性神座像、十一面観音座像、阿弥陀如来座像、阿弥陀如来座像である。後列左から、如来形陽刻板碑、男性神座像、弁財天座像、薬師如来立像、弁財天立像、男性神座像、鳥居の額束である。

主祭神である天津兒屋根命の御神体は松原神社本殿内と考えられるので、3体の男性神座像は、倉稻魂命、表筒男命、櫛樟日命であろうか。十一面観音座像は伊弉册尊の本地仏、弁財天は市杵島姫命の本地仏である。鳥居の額束



弁財天立像

には「辨才天」と刻まれており、市杵島姫命を祭神とする辨才天社の鳥居に掲げられていたものであろう。

#### 04 清永 白山神社／八幡神社石祠[武将形八幡神]、神明神社石祠[雨宝童子]、九重塔

白山神社の祭神は伊弉諾尊、旧社格は村社。境内社は神明神社。

境内社として神明神社のみが記されているが、本殿の左手に八幡神社の石祠が建てられている。奥壁内面には、弓と矢を持つ武将形の八幡神立像が浮彫りされている。

本殿の右手に建てられている石祠は神明神社で、奥壁内面には雨宝童子立像が浮彫りされている。

境内の右端には、石造九重塔が建てられている。案内板には次のように記されている。

清永白山神社石造九重塔

坂井市指定文化財 建造物

平成19年4月26日指定

笏谷石(火山礫凝灰岩)でつくられた、総高3.3メートルの石塔です。初層部には阿弥陀如来坐像の陽刻(西面)、金剛界の大日如来を示す梵字(東面)、胎藏界の台に如来を示す梵字(北面)が刻まれています。また、南面には「天文十八年(1549)八月 白山 願主藤泰兵衛 ■(尉か)」と刻まれています。現存する石造多層塔は欠損しているものが多い中で、損傷も少なく、坂井市内では、最古の記年銘をもっています。

坂井市教育委員会文化課



武将形八幡神



九重塔

#### 05 東荒井 春日神社／旧本殿石祠[薬師如来]、八ツ手の神神社石祠[弁財天]

春日神社の祭神は天津兒屋根命、旧社格は村社。境内社は八ツ手の神神社。

本殿の右手に石祠が建てられている。奥壁内面に薬師如来座像が浮彫りされている。この石祠は春日神社の旧本殿と思われ、奈良市の春日大社第三殿の祭神の天津兒屋根命の本地仏である薬師如来が彫られたと考えられる。



薬師如来

本殿の左手に、八ツ手の神神社の小さな石祠が建てられている。奥壁内面には、1面8臂の弁財天立像が浮彫りされている。八ツ手の神とは8臂の弁財天である。

## 06 上関 八幡神社／神明神社石祠[六字明王]

八幡神社の祭神は譽田別尊、旧社格は村社。境内社は神明神社。

本殿の右手に、神明神社の石祠が建てられている。この石祠は新しく作り直されたものであり、内部に角板型の石板が納められている。石板には六字明王立像が浮彫りされている。この石板はもとの石祠の奥壁であり、立て直した際にこの奥壁部分のみを納めたものである。

六字明王は芦原町に3体、三国町に4体、坂井町に1体、春江町に1体が確認されるが、金津町、丸岡町には1体も確認されない。坂井郡の西部のみに集中している。坂井郡の西部では、天台宗と結びついた神明信仰では雨宝童子を御神体とし、真言宗と結びついた神明信仰では六字明王を御神体としている。これにより雨宝童子がみられる地域では天台宗の勢力が強く、六字明王がみられる地域では真言宗の勢力が強かったことがうかがえる。



六字明王

## 07 下関 春日神社／春日神社石祠[観音]、神明神社石祠[雨宝童子]、不動明王

春日神社の祭神は天児屋根命、旧社格は指定村社。境内社は、伊弉那岐尊を祭神とする白山神社、譽田別尊を祭神とする八幡神社、素戔鳴尊を祭神とする黒龍神社、経津主命を祭神とする春日神社、天照皇大神を祭神とする神明神社。

本殿の左手にはコンクリート製の小堂と3基の石祠が並んでいる。



不動明王



観音



雨宝童子

いちばん左はコンクリート製の小堂で、内部には不動明王立像が浮彫りされた石板が納められている。像の左に「弘治三年(1557)八月廿八■」と刻まれている。

3基並んでいるいちばん左の石祠は、内面奥壁に観音とみられる座像が浮彫りされている。春日神社の旧本殿であろうか。

右の2基の石祠はいずれも、内面奥壁に雨宝童子立像を浮彫りしている。2基ともに神明神社と思われる。左の石祠の左側面に「寛永六年(1629)己巳三月八■」と刻まれている

## 08 高柳 氷川神社／氷川大明神

高柳には応神天皇を祭神とする八幡宮があるが、この氷川神社は神社庁に登録されていない。本殿の右手に「大山咩神社御旧跡」と刻まれた標柱が建てられている。

本殿内には、牛に乗った神像が浮彫りされた角板型の石板が納められている。本殿が建て替えられた際に、もとの石祠の奥壁部分のみを納めたものである。この神像は、氷川神社の祭神である素戔鳴尊(氷川大明神)だろう。



氷川大明神

## 09 上新庄・坂井町長畑 路傍／ おはや・良作地蔵、光導名号塔

JR丸岡駅近くの北国街道ぞいに、おはや・良作地蔵堂と光導名号塔とが向かい合って建てられている。この場所は昔、一里塚があった所である。

地蔵堂は文久元年に建立され、福井地震によって倒壊したのだが昭和25年に再建されている。しかし文化13年の記録に、この場所において地蔵の記述がみられるので、それ以前のものであったのではないかと考えられる。

堂内には5体の地蔵が納められている。中央は高さ85cmの立像で、他の4体は高さ25cmほどの坐像である。4体の坐像の右から2番目の地蔵は正面に「俗名為了作(良作)」、背面に「文久元辛酉冬」と刻まれている。また右から3番目の地蔵は正面に「俗名為早(はや)」、背面に「文久元年辛酉冬 乃弔為一切精霊」と刻まれている。そして、いちばん左の地蔵は正面に「俗名為熊」、背面に「文久元辛酉冬 ナムアマダ仏」と刻まれている。



おはや地蔵

良作地蔵

文化5年5月、加賀藩の家臣安達家の次男良作と足立家に仕える町娘お早は駆け落ちして逃げたが、逃げ延びることを断念してこの地で心中した。

おはや・良作地蔵堂の向かいに無智念仏行者光導書の名号塔が建てられている。総高188cmの凝灰岩(笏谷石)製で、台石と笠とに破損がみられる。これは福井地震によって倒壊した時のものだろうか。昭和23年に建て直されている。

正面に光導独特の丸い文字で大きく「南無阿弥陀佛」、その下には光導の署名と花押が、そして右には「善導大師」、左には「無智」と刻まれている。

右側面には光導が詠んだ歌が刻まれている。

「志してのちわがみにそゆる たからにハ なむ阿みだぶに 志くものなし」

これは、おはや・良作の供養のために詠まれた歌と思われる。光導は歌を詠むことを好み寶阿の名で道歌集を出している。

また左側面に「天保十二<sup>辛丑</sup>三月吉日 念佛講中」と刻まれている。記名年次の確認される光導名号塔の中で最も古いものである。光導40歳頃に造立されており、早くから布教活動を行っていた事がうかがえる。



光導名号塔